

3月村議会定例会

新年度予算等20議案を 審議・可決

3月8日・9日の2日間にわたり、3月村議会定例会が招集されました。議会では、一般会計をはじめ6つの特別会計の新年度予算など20議案が審議され、いずれの議案も原案どおり可決されました。

23年度当初予算

◆平成23年度一般会計並びに国民健康保険、介護保険、合併処理浄化槽設置管理事業、後期高齢者医療、簡易水道事業および村営バス事業の各特別会計の新年度当初予算が審議され、可決されました。一般会計の予算総額は、17億7700万円で、22年度と比較して4700万円、2.7%の増額となりました。

22年度補正予算

◆平成22年度一般会計並びに国民健康保険、合併処理浄化槽設置管理事業、後期高齢者医療の各特別会計の補正予算が可決されました。一般会計は、1599万1000円を増額し、総額20億6777万円となりました。

条例改正等

◆東秩父村、村立学校設置及び管理条例の一部を改正する条例（内容）西小学校大内沢分校および西小学校白石分校を廃止す

るものです。

◆東秩父村文化財保存施設等の設置及び管理条例の一部を改正する条例（内容）廃校する施設を、文化財保存施設として管理するものです。

◆東秩父村子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例（内容）子ども医療費の対象年齢の拡大と比企管内に所在する協定医療機関等で受診した場合は、子ども医療費の窓口払いを廃止するものです。

◆東秩父村営住宅管理条例の一部を改正する条例（内容）公営住宅から暴力団員を排除し、入居者および周辺住民の生活の安全の確保を図り、さらに住宅困窮者の公営住宅への入居の妨げを防ぎ、また、入居者の保証人条件を変更し、保証能力を確保するものです。

◆東秩父村・東松山市一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託について

ついて
（内容）高度成長期に集中的に整備された公共施設の経年劣化は徐々に進んでいます。更新計画策定の基礎データとなる施設状況の把握が必要不可欠です。

①施設および設備の定期点検等を実施しているか。
答弁 コミュニティセンターを例に挙げると、定期点検として建築設備点検年1回、消防設備点検年1回、防火対象物点検年1回、水質汚濁防止法に係る水質検査年4回、浄化槽保守点検を実施しています。

②公共施設の現状はどうか。
答弁 法令に定められた点検は各施設で行っています。また、早急に修繕しなければならぬ施設、個所については、管理人の確認、施設使用者からの情報を基に、確認してから修繕しているところでは、

③将来発生する修繕、更新、解体計画が考えられた場合、財源をどう考えるか。
答弁 計画的に手当をしていくことになると考えますが、そういった事態が発生した場合は、財源を見て行っていきます。

質問 光通信のサービスについて
（内容）期待と不安の中、光フ

アイバー設備も着々と工事が進んでいます。加入者の中にはインターネットを初めて経験する方も大勢いるようです。

①トラブル等が発生した場合、村としてどのような対応を考慮しているか。
答弁 開通事後における利用者からの問合せ等については、役場総務課が窓口となり、NTT東日本や販売代理店と連携して対応して参ります。

②村を挙げて取り組んだ事業なので、その利用価値を高める責任があると考えるか。
答弁 将来にわたって安定的にご利用いただくことが必要であると認識しています。そのためには、光を使うことにより、生活の利便性や行政サービスの向上を図ることが必要かと考えます。色々な活用方法が考えられますので、村民のニーズや費用対効果等を勘案し、検討していく必要があると考えております。

③光ファイバーが全世帯に接続されていない状況下で、村民のためにどのような付加価値を考えているか。
答弁 行政主体で、村内全世帯に光インターネットを接続することは、現段階では困難です。現状でインターネットを不必要としていない方が、今後新たに利

人事案件

◆東秩父村固定資産評価審査委員会委員の選任について

（内容）固定資産評価審査委員の富田禎二氏（安戸）が平成23年3月31日、田中則夫氏（坂本）、落合繁要氏（大内沢）が平成23年4月26日をもって任期満了となるので、3名を再度選任するものです。

一般質問

吉田 英夫議員
質問 公共施設状況等の把握に